



聖書を読む会 〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台 2-1 OCC ビル内
ウェブサイト: <https://syknet.jimdofree.com/> Email: sykooffice21@gmail.com
Facebook: <https://www.facebook.com/FB.SYK> 郵便振替: 00180-9-81537

No. 125

2022/6/1 発行

ジョン・ウェスレー 4

—ウェスレーと社会実践活動— (最終回)

東京フリー・メソジスト教団 桜ヶ丘キリスト教会主任牧師
聖書を読む会 元理事長 お茶の水聖書学院講師
水口 功



しばらく前に、ジョン・ウェスレーが生涯属していた英国国教会、日本では聖公会と呼ばれている教派の司祭（牧師）のメッセージを読む機会がありました。その司祭が綴っておられた次の言葉がとても印象的でした。「教会は伝道する場であって、社会問題に関わる場所ではないと言う二元論があるが、本来的な聖公会の宣教理解に立ち戻るなら、信徒への牧会的働きと社会的課題の関わりは、どちらも牧会であり、教会の中か外の違いに過ぎない。」18世紀にウェスレーが、英国において説教者として福音の伝道や牧会に励んだだけでなく、地域に住む貧しい人々への支援や教育にも力を入れたのは、「教会の中でも外でも世の光として輝く」という理念に基づいたことだったと教えられ、心燃やされたことでした。

前回はウェスレーが指導した組会の様子に言及しました。組会に集まる人たちは、会のメンバー同士で互いに祈り、励ましあう集まりを定期的に行っていました。そこで組会のメンバーは定期的な小グループの交わりを通して、教会財政や社会的な問題への関心を広げていきました。その結果、互いに教会の働きのための献金を呼びかけ、貧しい人々を支援する福祉事業も行い

ました。日常の集まりが、単なる集まりにとどまらず、教会内外の人々への財的支援や、社会奉仕に携わる原動力となったのです。それはメソジスト運動の指導者であったウェスレーが、組会の人たちに病人や貧しい人々の窮状を訴え、組会の長や信徒説教者たちが行っていた救済事業を応援するための有志を募ったことによりました。例えば組会のメンバーは、一週間のうちの三回は病人を見舞い、肉体的、靈的窮状を尋ねた上で、医薬を提供したり、靈的助言を与えました。さらに必要に応じて病人の家での家事手伝いなどもしました。このような困窮者への直接的な支援は、特に富裕層の人たちが請け負うことが期待されました。ウェスレーは「富裕な人たちが貧しい人々にほとんど同情しないのは、彼らが貧しい人々を訪問しなかったからだ」と言い、実際富裕な組会のメンバーに対して「あなたの交際を紳士と淑女の社会の人々との間だけに限らないように」と忠告しています。神の国をこの世にあって建て上げていくために、組会の交わりの中に富んだ人と貧しい人々が混ざるべきであるとも主張しました。そして「富んでいる人々は、自分が自由に使える時間があるゆえに、毎日幾分かの時を愛の労苦に用いることができる」といった具体的なチャレンジも与えました。

そのようなウェスレーの指導と、その指導に従った人たちの実践により、組会に参加していた初期のメソジスト信徒たちは、原則的に社会活動に参加しました。つまりこの時期のメソジスト信徒たちは、メンバー同士の靈的な交わりだけでなく、社会実践活動も強調されました。メソジスト運動を指導したウェスレーは、靈的交わりと社会実践活動を分離しなかったのです。この姿勢は初代教会の人たちが「財産や所有物を売っては、それぞれの必要に応じて、皆に分配していた」（使徒2章45節）に見られる、財産を共有した生き方に通じるものを感じます。さらに現代の福音派諸教会の信仰の証しとして、伝道と社会実践活動は分離するものではないと表明した1974年のローザンヌ誓約、その延長線上に開かれた2010年のケープタウン会議での宣言「私たちはすべての被造物とすべての文化がキリストにあって救済され、刷新されること…あらゆる破壊と貧困と敵対とが終わることを、聖い心で待ち望みつつこの世界を愛する。」（ケープタウン決意表明）と相通じるものがあることに気づきます。

ジョン・ウェスレーの組会の活動が広がった結果、ウェスレー自身は決して望まなかったことでしたが、メソジスト運動の組織化が進み、英国国教会から「メソジスト教会」が分離しました。しかし皮肉なことに教会として組

織化されたことで、かえって運動体としての勢いが失われました。このような傾向は、キリスト教会の歴史において、しばしば繰り返されてきたとも言えます。私たちがジョン・ウェスレーから学べることは、運動体か組織体か、伝道か社会実践活動かという二者択一ではありません。むしろ教会の伝統や秩序を重んじながら、「教会の中の小さな教会」と言われた組会のような小グループ活動に、信徒たちが主体的に参加し、生きた交わりを通しての伝道や社会実践活動に参加していくことが必要なのではないのでしょうか。そのことが今日の教会形成においても、父・御子・御霊の神から特に求められているように思います。（シリーズ終了）

手引『ローマ人への手紙』を用いて

浜田山キリスト教会 主任牧師 青山 潤



私たちの教会には40年以上「聖書を読む会」発行の手引を用いている一つのグループがあります。私は数年前そのグループに加えて頂き『ローマ人への手紙』を用い学びました。

個人的に“ロマ書は重要だけれど難解”と感じていましたから、求道者のいるこのグループには難しすぎるかもと躊躇がありました。けれど、いざテキストの手順に従ってゆっくりと進めると、親切な解説も多くロマ書に書かれている内容を、みながよく味わうことが出来たように思います。所々に挿入されている、聖書語句を説明するコラムも助けになりました。短い御言葉をテキストに従って考える中で「なるほど、そういうことか」と私自身、目が開かれる喜びを経験しました。残念ながらコロナ禍に入りそのグループは中断しましたが、その小グループで長く求道を続けておられた方が、昨年信仰を告白しバプテスマを受けました。

この手引の良いところは「聖書を読む会」が考える神学に導こうとするのではなく、聖書自身が語っていることに地道に聞いて、地道に理解している姿勢だと思います。御言葉による救いと養いを受ける、その良い助けにこの手引がさらに用いられることを願います。

奇跡！彼女の目が輝いていた！

古園由里子 南大沢チャペル会員

突然訪れた、聖書を共に学ぶ機会。

その方は私のクリスチャンの友人の妹さんで、長年様々な弱さを抱えて来た方です。友人は「どんな時にも祈ってごらん」と彼女に勧めていました。祈ることが日常になっていった彼女は、ある時私に言ったのです。「毎日祈ってはいるけれど、その神様のことが全くわかりません。お二人の信じているイエス様のことを、私ももっと知りたいです！」



彼女には不安障害や極度の対人恐怖症があるため、一人で信仰書を読み進めることも難しく、近くの教会に行くように勧めることも、私と実際会うことさえも、ままなりません。そこで私が引っ張り出してきたのが、かつてグループ聖研で使った『救いの基礎』。「一緒に聖書を読んでみましょう！」と声をかけ、LINEのノートの機能を使って始めることにしました。『救いの基礎』にある質問形式を一对一で進めるには、心に圧がかけすぎてしまいます。そこで、一つの課をいくつかに分けて文章にまとめ、ポイントを絞って易しい質問をしました。『救いの基礎』は、私が御言葉をおさえてレジユメを作るための優秀な手引となり、そこにある「まとめ」は、彼女をそこに連れて行くための明確な道標（みちしるべ）となりました。

闇に光が当てられるとその破れに御言葉の光が深く差し込んでいきます。神様の愛に感動し、癒やされ、解放されていく彼女の姿を毎回見せていただくことができました。まったく初めて聖書を学ぶときに、体系的に神様のご計画の全容を学べるというのは、今後も信仰の迷子になることを遠ざける、最善で、また非常に羨ましいようなことでもありました。

やりとりを始めて数ヶ月のこと、彼女が私に言いました。「いつからか、いつも心にあった言われもない不安がなくなっているのに気づきました！今は毎朝、起きると嬉しいのです！イエス様と一緒にだと思えば力をいただけます。すべて神様がしてくださるのですね。神様の御業です！」

もちろん今も弱さと闘いはあるのですが、イエス様が共にいてくださって、なんと社会復帰も果たされました。今は感謝に溢れて、新しいいの

ちを生きておられます。

先日友人が、久しぶりに妹さんと会い、そのときの印象をこう伝えてくれました。「妹がこんなふうになるなんてほんと奇跡！驚いたことは、彼女の目が、本当に輝いていたんだよ！」

聖霊のお導き、主の栄光を讃えます。そして私は、あのとき、素晴らしい手引がそこに備えられていたことに、心より感謝しています。

SYK 主催 秋のセミナー開催

SYK はこの秋に、スモールグループのリーダーや司会者のためのセミナーを開きます。すでに、リーダーや司会をしている方、近い将来スモールグループを始めたい、あるいは、司会者として学びたいと願っている方、是非ご参加ください。

日時：2022年9月10日（土）15:00-16:30

「初めてスモールグループ・リーダーになる方のためのセミナー（1）」

内容：「スモールグループとは何か、リーダーは何を目指すのか」を聖書から学び、司会のコツを学んだあとで、スモールグループに分かれて短く実際にバイブル・スタディをします。

費用：無料、方法：オンライン

申し込み：Eメールにお名前と「秋のセミナー参加希望」と書いて sykoffice21@gmail.com 宛にお申し込みください。今から申し込み可能、8月30日申し込み締め切り。9月初めに、詳細を含めたリマインダーメールを差し上げます。

今後のビジョン

SYK 主催のセミナーの必要が引き続きあるようでしたら、2023年春には、実践を中心とした「初めてスモールグループ・リーダーになる方のためのセミナー（2）」を開催します。2023年度以降は、ルカ、使徒、ロマなどの各書に焦点をあてて、各書の特徴や流れを学んだ後で、実際に手引を使って学ぶ訓練会をリーダーや司会者の方々のために開催することを計画中です。

第二回 スモールグループ・セミナー

日本ウィクリフ聖書翻訳協会、聖書同盟、聖書を読む会の三団体は、2020年10月にスモールグループ・セミナーを開催しました。その後も、スモールグループについての学びを積み重ね、この秋、二回目のセミナーを開催いたします。

日時：2022年10月22日（土）14:00～15:45

内容：第一部 講演会 14:05-14:25

「礼拝説教をスモールグループで分かちあう恵みと豊かさ」

児玉武志（日本福音キリスト教会連合 宣教教会 主任牧師）

第二部 分科会 14:25-15:10

1. 「礼拝説教をスモールグループで分かち合う具体的方法」
2. 「日々のデボーションをグループで分かちあう豊かさ」と方法
—聖書同盟「みことばの光」を用いて」
3. 「日々のデボーションをグループで分かちあう豊かさ」と方法
—いのちのことば社「マナ」を用いて」

第三部 フォーラム 15:10-15:40

参加者と分科会の司会者との間の質疑応答の時間です。

参加費：無料 方法：オンライン

申し込み：お名前と「第二回スモールグループ・セミナー参加希望」と書いて sykoffice21@gmail.com宛にお申し込みください。今から申し込み可能、10月1日申し込み締め切り。10月初めに、詳細を含めたりマイナーメールを差し上げます。

SYK 便り

アピールとオーダーメイド・セミナー

1. 教会や牧師会でのアピール

この半年も、いくつかの教会や牧師会に招かれて、短いSYK紹介をオンラインでいたしました。最短8分でSYKの働きと手引を紹介できますので、是非、気軽にお声がけください。ご要望があれば礼拝での説教もいたします。

2. オーダーメイド・セミナー

「スモールグループを教会として始めたいが、そのためのセミナーを開いてほしい」というご要望に答えて、いくつかの教会でオンラインセミナーを開催しました。状況はそれぞれの教会で違いますので、できるだけ、その必要にあわせた形で行いました。今後も、さまざまな必要にできるだけ答える形でオーダーメイドセミナーをいたしますので、ご連絡ください。

手引関連のニュース

1. 「ルカの福音書」(2021年4月発行)

ルカの福音書は章数が多く、手引も厚くなったのですが、出版後、確実に頒布が進んでいます。多くの方々が福音書の学びに興味を持ち、この手引を使ってくださっています。



2. 「詩編(抜粋)-主は王となられた-」(2021年11月発行)



13の詩編が聖書協会共同訳本文付き(新改訳2017対応)で取り上げられています。神の民は、どのような思いで詩編に向かったのでしょうか。詩編を学び、味わっていただければと願います。

3. 「救いの基礎」増刷へ(2022年6月予定)

「救いの基礎」(改訂版)はまもなく在庫切れとなるため、増刷されます。2016年の初版から数えますと合計約5000冊頒布したことになります。国内外から、この「救いの基礎」を用いて信仰告白に導かれたお証が届いています。また、クリスチャンの信仰内容の確認のためにも用いられています。



4. 「歴代誌」出版準備中

予定していたよりも出版が遅れ、申し訳ありません。歴代誌によってイスラエルの歴史を概観できるだけではなく、旧約時代の神の民の信仰と不信仰から学ぶことが多くあります。また、新約時代のユダヤ人の信仰を理解する助けとなるので、福音書がより立体的にわかるようになります。乞うご期待!

「通信」部数確認のお願い

いつも私たちの「通信」をお読み下さりありがとうございます。お届けしました「通信」の部数などは適当でしょうか。

発送の停止、部数の増減、住所の変更、「通信」のメール配信への切り替へなど、変更をご希望の方は、お手数ですが、変更希望の内容にお名前と住所を添えて、Eメールにて聖書を読む会(sykoffice21@gmail.com)までお知らせ下さい。よろしくお願いいたします。

2021 年度決算報告 (2021 年 4 月～2022 年 3 月)

収支計算表

[収入の部]				単位:円
科 目	予算額	決算額	達成率	
献金収入	3,430,000	3,349,794	98%	
負担金収入*	1,140,000	1,371,193	120%	
その他収入	1,010	785	78%	
当期収入合計	4,571,010	4,721,772	103%	
[支出の部]				*手引代金
伝道・活動費	1,740,000	1,227,034	71%	
維持・管理費	794,258	607,840	77%	
人件費	2,036,752	1,670,760	82%	
当期支出合計	4,571,010	3,505,634	77%	
当期収支差額	0	1,216,138		

貸借対照表

[資産の部]			単位:円
科 目	前年度末残高	3月末残高	
現金預金合計	1,312,595	2,878,733	
その他流動資産合計	1,250,198	1,275,438	
流動資産合計	2,562,793	4,154,171	
固定資産合計	422,000	72,000	
資産の部合計	2,984,793	4,226,171	
[負債の部]			
流動負債合計	0	0	
正味財産合計	2,984,793	4,226,171	
負債・正味財産合計	2,984,793	4,226,171	

コロナ禍の続くなか、2021 年度もご支援くださりありがとうございました。昨年度も新刊手引を出版し、オンラインでの広報活動を進めることができました。対面での活動も始めたいと願い、予算を計上していましたが実現できず、そのため、経費などの支出が大幅に抑えられました。2022 年度は対面の活動も始動し、また、新しい手引を出版していきます。

「聖書を読む会 SYK」の働きは、皆さまのお祈りと献金によって支えられています。引き続きお支えください。

献金を感謝いたします 2021 年 4 月～2022 年 3 月 (順不同 敬称略)

【教会・団体 38】 生田丘の上キリスト教会, 上田福音自由教会, 宇都宮聖書バプテスト教会, 永福南キリスト教会, エマオ聖書教会, かもい聖書教会, 岸和田北聖書教会, 行田カベナント教会, 久遠キリスト教会, 越谷福音自由教会, 在欧日本人宣教会, 堺大浜キリスト教会, 札幌希望の丘教会, 札幌聖書キリスト教会, Japanese Presbyterian Church, Japanese Christian Fellowship Network, 石神井福音教会, 新松戸福音自由教会, 新松戸福音自由教会 SYK グループ I, II, 菅生キリスト教会, 世田谷中央教会, 高石聖書教会婦人会, 高松シオン教会, 玉川神の教会, たまプラーザキリスト教会, 桜ヶ丘キリスト教会, 十日市場めぐみキリスト教会, 中山キリスト教会, 中山キリスト教会白根聖研, 日本ナース・クリスチャン・フェローシップ, 秦野詩音キリスト教会, 浜田山キリスト教会, 東村山キリスト教会, 前橋キリスト教会, 松見ヶ丘キリスト教会, 丸亀聖書教会, 南大沢チャペル, 武蔵野泉教会

【個人 111】 秋場佳子, 浅原法子, 阿部秀子, 新井愛子, 有野田鶴子, 安藤理恵子, 池田美栄子, 池田幸美, 池田百合子, 石野千恵子, 井上典子, 今井幸代, 今井晴代, 今村博子, 岩井昭子, 岩崎喜久子, 岩下幸子, 宇川明子, 瓜生和恵, 岡崎靖子, 小川紀一郎, 奥村節代, 尾田正毅・睦江, 小野喜美枝, 尾上選哉・由香, 尾松京子, 甲斐真理子, 加々美要, 春日一海, 片岡榮子, 勝又勝郎, 門谷院一・邦子, 菊池きよ子, 北川君子, 木下和好・恵美子, 久保田たつ子, 栗原善義・啓子, 小池清・三枝子, 鯉淵信也・早弓, 小嶋淑子, 兒玉照恵, 小森文雄, 齋藤怜奈, 竿代皓子, 坂口昌信・英子, 佐々木久幸・千鶴, 里見えみ子, 芝田寛二・正子, 島清哉, 島田法子, 島田祐也・みくに, 嶋田留美, 嶋本洋子, 神保タミ子, 杉山礼子, 鈴木喜香, 鈴木洋子, 曾山盛夫, 大門節子, 高木ゆみ子, タカダヨシコ, 高橋清, 高橋美恵子, 高橋隆二, 多胡伸子, 多田一江, 立田ひとみ, 田中啓子, 田中初子, 田村水比古, 寺島和子, 時田敏彦, なかにししんや, 長畑実, 成瀬信子, 西野玲子, 野地 和子, バーナード パートン・聡子, 橋本恵子, 花香純夫・寿子, 濱道子, 林照子, 平間真由美, 福島優一・リツ, 福田崇・愛子, 藤森奈都子, 古屋悠紀子, 増田慶子, 榎田ゆり子, 水口功・いずみ, 宮下識, 宗像敏子, 村口恵子, 村田文子, 矢島志朗・智子, 山崎和子, 山田千鶴子, 山本多恵子, 横倉知恵, 米田由起子, 渡邊智夫・京子, 匿名 10 件